

提供日 2019/09/04  
タイトル マダニが媒介する感染症「日本紅斑熱」に注意しましょう  
担当 健康福祉部 医療健康局疾病対策課  
連絡先 感染症対策班  
TEL 054-221-2986



### —危機管理情報—

**マダニが媒介する感染症「日本紅斑熱」に注意しましょう！**  
**～今年6例目の「日本紅斑熱」が発生しました～**

## 1 要旨

静岡県掛川市在住の40歳代女性が8月26日に市内でダニに刺され、28日発熱、9月2日に紅斑が出現したため静岡県西部地域の医療機関を受診した。ダニが媒介する感染症の疑いがあるため、3日に静岡県環境衛生科学研究所で検査した結果、ダニの刺し口の痂皮から日本紅斑熱の病原体が検出されたため、「日本紅斑熱」と判明しました。患者は軽症のため外来治療中です。

今年はこれまで6件（5月2件、6月1件、7月2件、9月1件）の日本紅斑熱が報告がされており、最も多く報告された平成29年の6件（6月1件、9月4件、10月1件）と同数となりました。マダニの活動は秋まで盛んですので、レジャーや農作業などで野山や草むら、畑などに入る場合にはより一層の注意が必要です。

## 2 日本紅斑熱とは

### (1) 感染経路

- 日本紅斑熱リケッチアという病原体を保有する **マダニに咬まれることで感染します。**
- **人から人へ感染して広がることはありません。**

### (2) 症状・治療

- マダニに咬まれてから2～8日で、**高熱、発疹**を呈し、重症化すると死に至ることもあります。
- **治療の第一選択薬はテトラサイクリン系抗菌薬で、ニューキノロン系抗菌薬が有効**という報告もあります。

## 3 注意喚起

(1) マダニに咬まれないようにしましょう！

- 特にマダニの活動が盛んな、**春から秋にかけて注意が必要**です。
- **レジャーや農作業などで、野山や草むら、畑など**に入る場合は、帽子、長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用し、**肌の露出を少なく**してください。
- マダニ用に市販されている忌避剤はありますが、マダニの付着を完全に防ぐことはできませんので、他の防護手段と組み合わせて対策を取りましょう。

(2) 屋外活動後は、マダニに咬まれていないか確認しましょう！

- マダニに咬まれた場合は、数日間、体調の変化に注意しましょう。
- 発熱・発疹の症状が見られたら、**早めに医療機関を受診**し、マダニに咬まれた可能性があることを伝えましょう。

4 県内の日本紅斑熱の患者数 (人) 令和元年は9月4日時点  
本県では、平成12年から令和元年まで21名の患者が届出されており、届出患者の住所地は県東部で18名、県西部で2名、その他(県外)が1名。

	全国	静岡県 ( )内は死亡患者数再掲	患者 性別・年代・住所地・発生日
平成12年	38	1	1.男・60歳代・沼津市・9月
平成25年	175	1	1.女・60歳代・伊豆の国市・7月
平成27年	215	2(1)	1.男・60歳代・沼津市・8月 2.女・70歳代・伊豆の国市・6月※
			1.男・70歳代・伊東市・11月

平成28年	277	2(1)	2.女・70歳代・沼津市・5月※
平成29年	337	6(2)	1.女・80歳代・熱海市・6月 2.男・50歳代・伊豆の国市・9月 3.女・70歳代・沼津市・9月※ 4.男・70歳代・沼津市・9月 5.女・80歳代・沼津市・9月※ 6.女・70歳代・沼津市・10月
平成30年	305	3	1.男・50歳代・三島市・3月 2.男・70歳代・伊東市・8月 3.女・70歳代・伊東市・10月
令和元年	140	6 (1)	1.男・70歳代・神奈川県湯河原町・5月 2.女・70歳代・熱海市・5月 3.女・50歳代・県西部地区・6月 4.女・70歳代・伊豆の国市・7月※ 5.女・70歳代・熱海市・7月 6.女・40歳代・掛川市・9月

平成30年の3例は、平成29年10月に発症したが、検体量が少なく平成30年に入って診断された1例を含む。  
※亡くなられた方。